慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	『慶應医学』投稿規定
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應医学会
Publication year	2007
Jtitle	慶應医学 (Journal of the Keio Medical Society). Vol.84, No.2 (2007. 6) ,p.142- 143
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00069296-20070600-0142

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『慶應医学』投稿規定

本誌は原著論文，学位申請論文，綜説，講座，シンポジウム，症例報告あるいは座談会の記録，学会または研究会の抄録，話題，雑報などを掲載します．原著論文は，その内容が過去に他誌に掲載されたり（ただし，抄録のみの掲載は該当しない），あるいは現在投稿中もしくは掲載予定でないものに限ります．新知見の所在が明確で，論旨が一貫して明解な論文をお寄せ下さい．記述は簡潔にし，類似する図表は省略して下さい．学位申請論文に関しては「学位申請論文」投稿の手引きを参照して下さい．

本誌に投稿する場合は，人を対象とする場合にはヘルシンキ宣言を遵守したものであることが必要です．また，動物実験に関しては関連の法規に従い，動物福祉の精神に基づいて倫理的に実施されたものであることが必要です．

論文の受付

原著，学位申請論文投稿は慶應医学会会員に限ります．掲載の採否は編集委員会にて決定し，採用となった場合は速やかに掲載証明書を発行し掲載巻号を通知いたします．

原稿はオリジナルとコピーを一部ずつ下記あてに届けて下さい．

〒160-0016
東京都新宿区信濃町35信濃町煉瓦館3階
財団法人国際医学情報センター学会事務室
慶應医学会「慶應医学」編集室
TEL 03(5363)3736（直通）
E-mail: keio-igakkai@imic.or.jp
受付時間：平日　午前9：00〜午後5：00
（土曜日は受付をしません）

初校の校正は著者にお願いします．校正期間は3日間です．校正では大幅な修正はできません．図表の校正も初校のみとなります．

印刷費は著者負担ですが，著者の負担を軽減するため，当分の間，1篇につき印刷費の内3万円を本会より補助いたします．

論文原稿の作成上の注意

1．原稿　文章は現代かなづかいにしたがって平仮名混じりとする．A4判の白紙に横書き（35字/行×23行の約800字詰）で，上下を約2.5 cmずつ，左右を約3 cmずつあける．外国語の原語綴は行末で切れないようにする．変換できない文字や記号は手書で明瞭に書き入れる．第1ページには，表題・著者名・所属を和文と英文で記入し，図表の数，希望別刷部数（50部単位），連絡先（郵便番号，住所，所属，電話およびFax番号，e-mailのアドレスなど）を必ず記入する．編集や印刷上の注意事項があれば朱書で指示を入れる．原稿には頁数を各頁の右下に記入する．

2．表題　論文の内容を表記した簡潔で明瞭な表題（40字程度）をつけること．（"……の研究"というような大雑把な表記は避け，新事実を明瞭に表記する．）20字以内の略題（running title）をつける．2篇以上の原稿を同時に提出する場合はそれぞれに別の表題をつける．

3．Key Word　英語を原則としIndex Medicusのsubjectsにあるもので，5項目以内を用意する．固有名詞以外は小文字とする．

4．英文抄録（ABSTRACT）　英語での表示とする．

1）読者が一読して論文の主旨が明確にわかるもの．

2）150語ないし200語以内にまとめる．

3）ダブルスペースでA4判の用紙にタイプする．

4）題名にすでに表記されているものを最初の文章で繰り返さないこと．

5）日本で特有の薬品テスト方法などについてふれる場合は，本文中にその説明がなくてもできるだけ説明を加えなければならない．

6）数字が文頭にある場合はスペルアウトし，文中ではアラビア数字を用いる．

5．緒言　見出しなしで始める．研究の位置づけを明記し，実験・研究の目的を明示する．しかし過大な歴史的考察は好ましくない．

6．項目の記述　原則的に英文抄録（ABSTRACT），研究・実験または検査の方法，研究成績または実験結果，考察または考案，結論または総括，謝辞，文献，のような順で記述する．ただし，綜説・講座はこの限りではない．

略語は各分野を通じて周知のもの以外は使わない．

7．考察の内容　自己の所見と他人のものとの比較で異同を云々するだけの場合，「研究結果及び考察」の一章にまとめるようにする．

8．結論または総括　刷り上がり半頁（原稿用紙2枚半位）以内にまとめ，一読で研究方法の概略も含めて所見および結論のポイントがつかめるようにする．

9．見出しの振り方（参照例）

研究成績

1．臨床的事項

1）　頻度

a) ……

(1)……

(i)……

10. 外国語　原語もしくはカタカナで書き，原語の場合は小文字（固有名詞やドイツ語の頭文字は大文字）とする．普通名詞は文頭に限って大文字とする．

11. 図（写真）　そのまま印刷できる鮮明なものを用いること．光沢のある白い印画紙の上に焼き付けたものかそれに準じたものとする．手書は受付けない．大きさは原則として横幅8 cmもしくは16 cm，縦（最長）23 cm以内のものを用意する．電子顕微鏡写真および光学顕微鏡写真は倍率を明示すること．原図の裏に著者名・図番号・天地の指示（矢印）を鉛筆書きし，A4判の紙に貼付する．特に大きさや配置に希望のある場合は明記すること．原寸大として図に書き込まれている字の大きさは，最低1.5 mmの高さが必要である．これ以下の大きさは印刷不可．

12. 図表の名称　第1図，第1表として，本文中と図表の名称を統一すること．図表の題名は写真板に含めない．図表中の文字・単語は英語でもよいが，図表の題名および説明文は日本語で記載すること．なお，定量的な実験あるいは検査の記述は表よりグラフを用いたほうがよい．同一のデータを図と表の両方で示すことは避けること．また，本文中の右欄外に図表の挿入箇所を朱書きで指示する．

13. 謝辞　できるだけ簡単にし，ここに研究費の出所なども記載する．

14. 文献　本文中では引用された順とし，"Smith[1]によれば，……という報告がある[2, 3]．" のように肩に番号をふる．文献表は本文とは別とする．共著者のある場合すべての著者名を書き，スタイルはバンクーバー方式とする．論文のタイトルの文頭のみ大文字とし，あとは小文字で書く．雑誌名は公式の略号を用い，頁は最初と最後を必ず書く．（下記の例を参照する．）

論文：1) Counihan T, Messer AL, Sprague HB：The initial vibrations of the first heart sound. Circ Res 3：730-732, 1968

2) 田中一郎，山田二郎：膠原病の成因．慶應医学，42：162-198, 1965

著書：3) Link GKK：Bacteria in relation to plant diseases. Newer Knowledge of Bacteriology and Immunology. (Ed) Jerdan EO, Falk IS, Univ Chicago Press, Chicago, p. 590-606, 1967

4) 後藤修二：鼓室成形手術．耳鼻咽喉科手術書（堀口申作編集）．医学書院，p. 134-160, 1961

15. 略号　本誌の性格上，関連領域では周知のものでもなるべく避けること．やむを得ず使用する場合は，始めにスペルアウトし，以下（…と略す）と断わりを入れること．多くの略号が頻回に使用される場合は，論文の始めの方に一覧表を付けるなどの配慮をすること．

16. 単位，符号　基本単位：10^3→k，10^6→M，10^{-6}→μ，10^{-9}→nとして符号の前に付ける．略称のピリオドはつけない（g.でなくg）．長さ：A，nm，μm，mm，cm，m，km．面積：mm^2，cm^2，m^2，$a=m^2\times10^2$，$ha=a\times10^2$．容積：m^3，mm^3，ml，dl，l．質量：pg，ng，μg，mg，g，kg．時間：hr，min，sec，msec（本文中でジ・フン・ビョウと読む場合は時・分・秒と書いてもよい）．電気諸単位：(volt)；μV，mV，V，kV，MV，(ampere)；μA，mA，A，kA，(ohm)；mΩ，Ω，kΩ，MΩ，(watt)；μW，mW，W，kW，MW，(farad)；pF，μF．放射能諸単位：(becquerel)；Bq，kBq，MBq，(sievert)；mSv，Sv．放射性同位元素：^{131}I，^{14}C，^{3}H．

17. 本誌に掲載された論文等の著作権は慶應医学会に帰属する．

18. フロッピーディスクによる入稿について　印刷工程の効率向上を図るため，フロッピー入稿を希望する．受理が決定した最終稿を入力したフロッピーディスクを印字原稿と共に提出する．入力はテキスト形式で行うこと．使用したパソコン，ワープロ，ソフト名，ソフトの版等を著者名，略題とともにフロッピーディスクのラベルに記載する．

19. 論文作成に関する参考書を下記に示すので，参照のこと．

1) O'Connor M and Woodford FP：Writing scientific papers in English, Excepta Medica, Amsterdam. 1979

2) CBE Style Manual Committee：Council of Biology Editors style manual：A guide for authors, editors, and publishers in the biological sciences, 4th ed. Council of Biology Editors, 1978

3) Day RA：How to write and publish a scientiffic paper. ISI press, Philadelphia, 1979

20. その他　詳細に関しては事務局に問い合わせて下さい．

（2003年1月）